

特集

看護教育の現場に
プレゼンテーション力を活かす！

[座談会] 看護師の経験が高める教員のプレゼンテーション力

齊藤裕之, 雑賀美智子, 諸橋由美子, 林田昌子

講義で活かすプレゼンテーション 百瀬栄美子

臨地実習で活かすプレゼンテーション 飛鳥井まどか

研究発表で活かすプレゼンテーション 米澤洋美

模擬授業を通して学ぶプレゼンテーション 朝倉真弓

[新連載]

PBL 再考——教員として体験したマクマスター大学における PBL・1 Mernagh 豊澤英子
九州・沖縄からの風 学生が綴る看護への想い・1 高橋佳佑

[連載]

沖縄から漕ぎ出す「島しょ保健看護学」の船出・3 神里みどり, 野口美和子

実習の経験知 育ちの支援で師は育つ・5 新納美美

ナイチンゲール伝・7 茨木 保

学生の日 教員のまなざし・13 水沢学苑看護専門学校

Mail From USA ——『JNE』を読み、世界の看護教育の流れを知る・33 神谷英美子

編集後記

◎編集室ツイッター <http://twitter.com/KANGOKYOIKU>

●今回の特集にちなんで、11月5日公開の『ラビット・ホール』をご紹介します。同題の舞台を見たニコール・キッドマンが自らプロデュース、主演してきた映画です。交通事故で息子を失った夫婦。もういない息子への思いの表し方の違いから、お互いの関係に溝が深まります。ある日、妻は一人の少年と知り合います。そして知ることです。彼こそが、息子の命を奪った事故を起こしたということ……●喪失と再生の物語は今までも多く描かれていますが、そこで必ず大きな比重を占めるのは、残された者の関係性が変化することへの言及です。この映画もそうですが、「いのちを考える」という意味では、「今のいのちのある者」について考える重要性を訴えかけています。医療職が関わることができるのは「生きている人」。その視点でいのちを考えていただきたいと思います。……大野

●「東京に帰る……なんだね」。帰省していた愛知の実家から、一人暮らしのアパートに戻ったことを報告するために、電話を入れたときの母親の一言です。私の口から無意識に出た「ぶじ東京に帰りました」という言葉に対する母のこの反応にハッとしました。●東京に出て6年半、実家に顔を見せるのは盆と正月のそれぞれ数日ずつしかありません。ふと、すでに還暦を迎えた両親にあと何回会うことができ、どれだけの時間を一緒に過ごせるのか、と考えます。そして、たった今彼らを失ったら自分は何を感じるだろう、と思いを巡らせ、少し優しい気持ちになりました。きっと、別れを考えることは、心の準備というだけではなく、人を大切に思うことにつながります。●「ちょっと観たいサッカーの試合があったから」なんて適当に理由をつけて、来月あたり、愛知に帰ることに決めました。……加藤

看護教育 第52巻 第12号 2011年12月25日発行(毎月1回25日発行)

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2011, Printed in Japan

1部定価 1,470円(本体1,400円+税5%) 2011年・年ごめ予約購読料(増大号を含む12冊)

冊子のみ16,250円, 冊子+電子版21,300円, 電子版/個人16,250円, 電子版/共有18,690円(いずれも税込, 送料弊社負担)

発行: 株式会社医学書院 代表者: 金原 優 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 販売部 TEL: 03-3817-5657

『看護教育』編集室 TEL: 03-3817-5776 メールアドレス: kankyou@igaku-shoin.co.jp 担当: 加藤・大野・早田

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

本誌を無断で複製する行為(複写, スキャン, デジタルデータ化など)は, 「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて, 業務上使用する目的(診療, 研究活動を含む)で上記の行為を行うことは, その使用範囲が内部的であっても, 私的使用には該当せず, 違法です。また私的使用に該当する場合であっても, 代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

JCOPY (社)出版者著作権管理機構委託出版物

本誌の無断複写は著作権法上の例外を除き禁じられています。複写される場合は, そのつど事前に, (社)出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969, FAX03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。0047-1895/11/¥250/論文/JCOPYが本誌の頁表記に並んで記されているのは, 1論文1回複写につき250円を要することを明示したものです。表示のない論文などにも適用されます。JCOPY宛にご連絡いただく際には, 筆頭著者名・論文名と併せて本表示をご提示くださるようお願いいたします。

『看護教育』バックナンバーのご案内

【月刊】1部定価1,470円(本体1,400円+税5%)
8月増大号定価2,205円(本体2,100円+税5%)
年間購読 好評受付中! 電子版も選べいただけます。

2011年11月
Vol.52 No.11
特集

さまざまな立場からの国試対策



いわゆる“平成21年度新カリキュラム”が適用された初めての学生が国家試験を受けるまで、あとわずかとなりました。先生方も学生さんも、準備に余念がないことと思います。

国家試験対策は、もちろん、新カリ以前から多くの学校でなされています。最近では、大学でも対策に力を入れるところも増えています。そこで今回は、いくつかの学校で行われている国試対策をご紹介します。これからの準備の参考にしていただこうと、お原稿を集めました。また、教員として今後どのように国試対策に挑めばいいのか、というヒントもいただきます。

試験のために勉強しているわけではありませんが、学生にとっても教員にとっても国試が重要なことはいうまでもありません。合格に向けて共にがんばっていただきたいと思います。

contents

- 国家試験対策を学校としてどう進めるか 柴田淑子
- 初めての国家試験を体験して 国家試験支援室の活用 森 圭子・三井明美
- 定時制進学コースにおける国試対策 大東佐枝美
- これからの国試対策 学生支援から学生の自主的な取り組みをめざして 宮堀真澄

2011年10月
Vol.52 No.10
特集

准看,進学コースでの教育はいま



1996年12月20日、厚生省(当時)の准看護婦問題調査検討会は、その報告書のなかで「21世紀初頭の早い段階を目処に、看護婦養成の統合に努める」という結論を出しました。それから間もなく15年が過ぎようとしていますが、看護界が十分「努め」てきたように感じられないのは残念です。

看護系大学が200を超えた今、准看護師と出会ったことがない教員も珍しくないかもしれません。専門看護師や認定看護師などの高度な資格が増えていくなか、以前よりも准看護師が顧みられることが少なくなっているように思います。しかし、現在も37万5000人余りの准看護師が就労し、その教育が続いている現実から目をそらすことは、看護教育者として問題だと考えます。

今回の特集は、弊誌においても十分顧みてこなかった准看護師と進学コースの教育現場の実情を報告していただき、少しでも多くの看護教育者に現状理解をしていただこうと組まれるものです。15年前の結論に向けて「努め」ていくための指針となれば幸いです。

contents

- 私的視点からみた准看護学校での教育の変遷と現状 角田美代子
- 存在感が増すなか、准看護教育の転換期を迎えて 藤田京子
- 2年課程通信制における教育の実践 岡田真理子・玉城律子
- 高等学校衛生看護科のいまとこれから 中尾優子
- 准看護婦問題調査検討会報告から15年経った今思うこと 林 千冬

【2011年9月号 (Vol.52 No.9)】

特集 **専任教員の
新たな継続教育プラン**

【2011年8月増大号 (Vol.52 No.8)】

特集 **模擬患者を取り入れた教育を
見直す Part2
模擬患者をどのように活かすか**

【バックナンバーのご注文について】

■ vol.51 No.1 以降のご注文は、お近くの書店、または医学書院販売部にお申し込みください。
医学書院 販売部 TEL:03-3817-5659

■ vol.50 No.12 以前のものについてのご注文は、下記宛にお願いいたします。
(株)東亜ブック TEL(03) 3985-4701 FAX (03) 3985-4703
E-mail: st@toabook.com URL: http://www.toabook.com

●バックナンバーの詳細目次は、小社ウェブサイト <http://www.igaku-shoin.co.jp> でご覧ください。



医学書院

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

【販売部】TEL: 03-3817-5657 FAX: 03-3815-7804

E-mail: sd@igaku-shoin.co.jp <http://www.igaku-shoin.co.jp> 振替: 00170-9-96693

携帯サイトはこちら



消費税率変更の場合、上記定価は税率の差額分変更になります。

■特集

「看護教員が教える形態機能学」への道(1号)

「看護教員が教える形態機能学」をどう構成したか

導入に向けての助走：雑賀美智子／佐藤治代，1，6

実現させるための取り組み：中山富子，1，8

看護教員が形態機能学を教えるための教材や参考図書の選定：日下部浩子，1，14

形態機能学を看護教員がどう教えるか——授業計画・授業案の検討と模擬授業を実施して：中島明美，1，19

看護教員が形態機能学を教えるための自己学習：中山富子，1，24

これからの看護教員養成——講習会ガイドライン活用と発展(2号)

【座談会】看護教員養成ガイドライン活用と発展：島田千恵子／齊藤茂子／八木直子／宮野公恵／石川倫子，2，90

『専任教員養成講習会及び教務主任養成講習会ガイドライン』解説——教育課程に焦点を当てて：石川倫子，2，100

『今後の看護教員のあり方に関する検討会』報告書解説——厚生労働省の対応に焦点を当てて：奥田清子，2，108

中小病院や施設に実習を求めて(3号)

大学が中小規模病院や施設に実習を求めること：板倉勲子，3，172

中小規模病院が実習を受け入れること——その決断と成果：高岡哲子，3，177

高齢者ケア施設だからこそ学べる看護の本質：牛田貴子，3，184

中規模病院における看護学実習の肯定的受け入れ——実習指導者の受け入れ準備教育から考える：猪俣満江，3，189

高齢者施設で看護実習を受け入れて：佐藤佐津紀／萩田妙子，3，194

男が看護を学ぶこと(4号)

男性看護職の歴史の変遷と現在——今日の課題と期待される点：山崎裕二，4，264

男性看護師研究会「侍」の挑戦——3学年合同男子ゼミナールの導入から：大木清美，4，269

「ソワニエ」で看護を学ぶ男たち——看護「男女共学」の長所と課題：持田千里／川西久枝，4，274

男性看護師に期待される役割は変わったか——学生として、臨床・施設管理職として、教員として：百田武司，4，279

男性看護者の「サバイバル論」——ジェンダーの視点から考察する：朝倉京子，4，285

「ナースマン」が死語になる日：小林光恵，4，290

循環型教育の確立をめざして(5号)

循環型教育への取り組み 基礎教育における役割：眞鍋えみ子／光木幸子／岡山寧子，5，340

臨床と教育が協働し開発する『一人前看護師育成プログラム』：倉ヶ市絵美佳／橋元春美，5，348

循環型教育としてのレクネスから OSCE への発展：迫田

綾子／村田由香／川西美佐，5，352

育み育まれる継続教育と大学教育との循環：谷口理恵，5，358

看護専門学校で取り組む循環型教育の萌芽——ユニフィケーション，そして人事交流を人材育成につなげる：森内みね子，5，362

臨床側からユニフィケーションを捉える：茂木光代，5，368

チーム医療を培う IPE(6号)

【インタビュー】多職種連携を支える「看護科学」のための教育を：薄井坦子〔聞き手〕本誌編集室，6，420

【コラム】質問を寄せて，答えに接して：渡辺暢子，6，426

医療人共通教育としてのヒューマン・コミュニケーション教育の実践——看護学生・医学生合同「医学概論」を運営して：高塚人志，6，428

【コラム】看護教育者の声

人とかかわり，成長する：橋 緑里，6，430

現場で看護を考える立場での学び・気づき：橋本みどり，6，431

先駆者からのメッセージ—— IPE にチャレンジするみなさんへ：大塚眞理子，6，434

多職種理解のカギになる協働アプローチ法——ケースで紹介する信念対立解明アプローチ：京極 真，6，436

医療各職種それぞれの卒前教育でめざすもの——共通する課題と改革のために：福原麻希，6，440

千葉大学「玄鼻 IPE」の現在——看護学部・医学部・薬学部の連携協働プロジェクトの進化：酒井郁子，6，444

模擬患者を取り入れた教育を見直す Part1 —— 模擬患者は何を学んでいるのか(7号)

医療者教育における模擬患者(SP)の歴史と現在の活動：

阿部恵子，7，502

患者の立場から考えた模擬患者の教育内容：山田彩乃，7，510

模擬患者教育を楽しく的確に：福井みどり，7，516

生きた教材としての模擬患者 MITP® の養成：黒岩かをる，7，520

看護版 OSCE のための模擬患者教育：中村恵子／渡邊由加利，7，528

【特集1】模擬患者を取り入れた教育を見直す Part 2 —— 模擬患者をどのように活かすか(8号)

大学において模擬患者をいかに活用するか—— OSCE を中心に：渡邊由加利／中村恵子／吉川由希子，8，586

専門学校における模擬患者導入の実際——派遣を受けて：小野田真弓／須田雅美／村田日出子，8，593

専門学校における模擬患者導入の実際——ボランティアの力を借りて：大東佐枝美，8，601

MEV(Medical Educational Volunteer) 養成の必要性和意義：原 寛，8，606

【特集2】看護学生論文 入選エッセイ・論文の発表(8号)

エッセイ部門

〔講評〕気づきから自己分析へ、そして成長：柳田邦男，8，612

患者の心に寄り添いたい：竹原裕美，8，616

扉：松野想平，8，618

僕は決めた！～科学的な看護技術実践に向けて～：坂本龍之助，8，620

命——母親の強さ：土平葵，8，622

Aさんと私の“時”：荒木田知美，8，624

信頼関係を築くことの難しさ——患者さんからもらったテレホンカード：出村美千香，8，626

人の手から伝わるもの：鳥尻瑛梨子，8，628

30代の男子学生が志す終末期看護への道：伊豆田順平，8，630

アルバイトの看護婦さん：小谷川美鈴，8，632

仲良く手をとれるその日まで：和田彩香，8，634

論文部門

〔講評〕学生の「臨床」が見えてくる——「看護師の臨床の『知』」を創造し続けてほしい：佐藤紀子，8，636

その人らしさを支える援助——認知症高齢者の看護を振り返って：市川綾美，8，638

看護学生が感じる卒業後の技術不安：阿部広子，8，642

患者の死を看取る経験をした看護師の感情表出に対する思い：岡田桃子，8，646

看護師の誠意がはまる落とし穴 多飲水が見られた統合失調症患者との関わりを通して：岡本紘子，8，650

終末期における患者の尊厳の保持と家族への看護：鏡堂みち子，8，654

自己効力感を高める看護 糖尿病にて入院を繰り返される患者様からの学び：川下勝利，8，658

6歳児の頸部リンパ節炎による疼痛に対する援助 フェイススケールの有効性：佐藤賢太，8，662

パーキンソン病患者のQOL向上を目指した援助：白岩享子，8，666

発声できない患者の思いの表出に対する看護——トラベルビーの人間対人間の看護を用いた分析：増田沙知代，8，670

その人の家で、その人らしく生きるための支援——家族介護の尊重と地域の歴史を視野に入れた看護：松本裕美子，8，674

専任教員の新たな継続教育プラン(9号)

専任教員の新たな継続教育プランの概要——そのねらいと形成の経緯：遠藤由美子／安藤純子／蘆田洋子／佐藤治代，9，726

専任教員のキャリア別達成目標——新任から熟達期まで：蘆田洋子，9，734

新任教員研修の実際：三妙律子／水澤晴代／安井静子，9，742

准看，進学コースでの教育はいま(10号)

私的視点からみた准看護学校での教育の変遷と現状：角田美代子，10，816

存在感が増すなか，准看護教育の転換期を迎えて：藤田京子，10，822

2年課程通信制における教育の実際：岡田真理子／玉城律子，10，828

高等学校衛生看護科のいまとこれから：中尾優子，10，834

准看護婦問題調査検討会報告から15年経った今思うこと：林 千冬，10，840

さまざまな立場からの国試対策(11号)

国家試験対策を学校としてどう進めるか：柴田淑子，11，894

初めての国家試験を体験して——国家試験支援室の活用：森 圭子／三井明美，11，901

定時制進学コースにおける国試対策：大東佐枝美，11，906

これからの国試対策——学生支援から学生の自主的な取り組みをめざして：宮堀真澄，11，911

特集 今，学生と共にいのちを考える(12号)

子どもを病気で喪うこと——いのちをみつめる意味：鈴木中人，12，986

自死遺族の悲嘆と立ち直り：平山正実，12，992

突然死による遺族の悲嘆とその向き合い方：米田朝香，12，998

東日本大震災の被災地にある学校からのメッセージ：森岡薫，12，1006

■焦点

続・ユースカルチャー その10～学問と生活と名誉——高学歴ワーキングプアについて：渡部 真／小池高史，3，200

ガイドラインに基づいた教務主任養成講習会開催の経緯と期待

教務主任養成講習会への期待：島田千恵子，10，846

福岡県における教務主任養成講習会開催までの経緯と準備の過程：鎌田久美子／後藤 都，10，849

コラム●2011(平成23)年度教務主任養成講習会を受託するにあたって：神坂登世子，10，850

【インタビュー】厚生省看護研修研究センターが果たした役割：伊藤暁子〔聞き手〕本誌編集室，11，916

教務主任養成講習会の講義・演習指導担当者からみた意義——看護学教育方法演習指導を担当して：白水麻子，12，1014

■資料

「看護教育の内容と方法に関する検討会 第一次報告について」(平成22年11月10日)：1，38

「看護教育の内容と方法に関する検討会報告書」について(平成23年2月28日)：4，294

「大学における看護系人材養成の在り方に関する検討会最終報告」(平成23年3月11日)：5，384

第100回看護師国家試験の傾向から新カリキュラムへの対策を考える：柴田淑子，7，536

第100回看護師国家試験問題の考察——必修問題を中心に：畑尾正彦，7，540

■特別記事

学生の看護実践力を育むレクネス(RCNES: Red Cross Nursing Education Supporter)制度の導入: 迫田綾子/川西美佐/吉田和美/実藤基子/原田裕子/要田郁美/三味祥子, 1, 30

臨地実習中における感染症対応システム構築とその活用: 河上智香/石井豊恵/荒尾晴恵/永井利三郎, 4, 296

【インタビュー】自律した看護師人生を送るために: 見藤隆子〔聞き手〕前田樹海, 5, 374

『ナイチンゲール伝』を物語る前に——「自分嫌い」のナイチンゲール: 茨木 保, 6, 465

学生の成長を促すピア・エデュケーション教育——ピア・カウンセリングによる「思春期のこころとからだ相談室」: 柏葉英美/清水里香子/玉川美和/横濱幸恵, 6, 468

災害看護, それはこれまでの人生を問われるもの——東日本大震災の復興および被災者支援活動から: 川原礼子, 7, 544

英国における Deaf people への看護教育の現状について: 栗原房江, 8, 680

「臨床看護の実践」の授業構築——「看護の統合と実践」教授の具体例: 早坂直子/篠原千鶴子/小池邦美/佐々木克江/大竹由美子/北浦益代/西田ふみ/矢野典子/澤田幸子, 9, 750

授業案検討 基礎看護学において“ホリスティックケア”の何を教えるか——知識を融合させること, 心で触れることを大切に: 諸橋由美子/松井美子/西原由美子, 9, 759

看護教育にワークショップを取り入れて学生中心の授業を!: 苅宿俊文/屋宜譜美子, 11, 924

■看護教育研究

看護学生の実習達成感と職業的アイデンティティの関連: 辻田大介/入山茂美/高橋美和, 1, 42

■実践報告

学生チームで複数患者を看護する取り組み: 村岡由美子, 1, 47

臨床心理学の立場からの実践的看護教育の試み: 土屋明日香, 2, 114

看護の統合と実践実習のあり方の検討——東京医科歯科大学の学生による実習評価から: 佐藤可奈/深堀浩樹/佐々木吉子/柏倉淑子/小牟田智子/井上智子, 3, 208

臨床看護師との協働による看護技術指導の評価: 滝内隆子/小松妙子/塚原節子/岡本千尋/中島美奈子/中野尚見/伊藤友美/高岡光江, 9, 766

解剖・生理学におけるPBLの導入——上級生によるチューター制を実施して: 久田雅紀子/種田ゆかり/成田有吾/清水房枝, 11, 930

終末期患者の尊厳とスピリチュアリティの重要性への看護学生の認識——在宅死と病院死に関する学生の認識の分析から: 安藤満代/丸山マサ美/井手 信/二ノ坂保喜, 11, 935

■Scramble Zone

見果てぬ夢か——医師として基礎看護教育を考える: 早田 宏, 1, 52

オンラインで授業を受けるeラーニング——あたらしい授業, おとなの勉強のかたち: パートン裕美, 1, 54

落とすべきか, 通すべきか——それが問題だ——学生レポートをめぐる「倫理」の顛末: 大西香代子, 2, 120

私のトラブル体験記——日本では思いもよらなかったこと: 河合洋子, 7, 551

看護専門職として生涯学び続けることを支え合う学生コンソーシアム

報告紹介: 岡村 純, 7, 554

学生同士と地域の人とのつながりをつくった沖縄地区学生フェスティバル: 大嶺健一, 7, 555

仲間をつくることで成功した九州地区看護学生フェスティバル: 牧野優里, 7, 557

4年制大学看護教育における養護教諭養成の期待と課題: 今井孝子, 9, 772

看護大学教育に求められるもの——リベラルアーツ(一般教養)の重要性: 鷲尾昌一/矢野正子, 9, 776

看護基礎教育における災害ボランティア体験の効果——参加した学生のアンケートより: 柏葉英美/奥寺三枝子/清水里香子/玉川美和/安木順子/横濱幸恵/沢口知亜紀, 10, 852

■沖縄から漕ぎ出す「島しょ保健看護学」の船出

1. 「島しょ保健看護学」の確立の必要性: 野口美和子/大湾明美, 11, 942
2. 学部における臨地実習の新たな教育方法「島しょモデル型臨地実習」: 前田和子/大湾明美, 12, 1024

■実習の経験知 育ちの支援で師は育つ: 新納美 美

1. 先生の先生は学生だった: 9, 780
2. 育てる土壌づくりは一对一のコミュニケーションから: 10, 858
3. 育ちの歩みに歩調を合わせながら: 11, 950
4. 看護の木: 12, 1030

■授業設計 母性看護学における看護過程

1. 新カリキュラムにおける授業の構築: 篠原千鶴子/主濱治子/相沢澄子/友部貞子/長島貴久代/平原春美/青木康子, 8, 688
2. 「褥婦・新生児の看護」の授業の構築: 主濱治子/篠原千鶴子/相沢澄子/長島貴久代/友部貞子/平原春美/青木康子, 9, 786
3. 「褥婦・新生児の看護」の授業の構築2: 長島貴久代/青木康子/主濱治子/相沢澄子/篠原千鶴子/友部貞子/平原春美, 10, 862
4. 教育評価 母性看護学教育のこれから: 平原春美/友部貞子/篠原千鶴子/主濱治子/相沢澄子/長島貴久代/青木康子, 11, 954

■EPA 看護師候補との3年間

1. インドネシアの保健医療・看護教育制度——どんな国

から候補者たちは来ているのか・1：奥島美夏，8，696

2. フィリピンの保健医療・看護教育制度——どんな国から候補者たちは来ているのか・2：石川陽子，9，792
3. EPA とはどのような協定なのか：吉野文雄，10，870
4. 外国人看護師候補の国家試験学習支援：尾形直子，11，960
5. 看護師国家試験の日本語分析——第99回，第100回看護師国試の改正：奥田尚甲，12，1036

■ ナイチンゲール伝：茨木 保

1. 食卓恐怖症：7，562
2. 神の声：8，702
3. 舞踏会と農民小屋：9，798
4. 天職は看護師：10，876
5. 結婚が仕事か：11，966
6. レゾンデートル：12，1042

■ 看護基礎教育の大学化を考える：松原定雄

1. 看護師養成の量的検討：2，128
2. 「大学化推進論」の論拠となるデータの検証：3，216
3. 看護専門学校のアドバンテージ：4，306

■ 「形態機能学」で看護教員が教えられること

1. 物質の流通：淵野佳澄，2，134
2. 息をする：佐藤まゆみ，3，222
3. 動く：石井紀子，4，312
4. 食べる：柳田徳美，5，392
5. トイレに行く：小林美智子，6，476

■ 学生の目 教員のまなざし

1. のどちらこ：吉岡葉子／古屋 恵，1，1
2. どうなっているのだらう……。：樺山たみ子，2，85
3. あれも！ これも？ えーと……。：池西静江，3，167
4. 4メートルの壁：津野陽子，4，259
5. こちら災害現場です。：田邊三千世，5，335
6. 私ならどう関わるか……。：横手直美，6，415
7. 温故知新に触れながら：小幡さつき，7，497
8. いま私にできること：松田智恵子／阿部亮子，8，581
9. 1年生：柴田淑子，9，721
10. ハンドパワー：近藤直美／周藤由香里，10，811
11. リフレッシュ：柏葉英美／山上明日，11，889
12. 「飲み込めないよお」：諸橋由美子，12，981

■ 教育と研究，臨床をつなぐメッセージ やっばり私は、看護師だった！：那須あい

1. 塩や水のような存在でありたい：1，55
2. 〈全体像の理解〉の難しさと大切さ：2，123
3. 小さくても大切な誇り：3，233
4. 記録に看護師としてのメッセージを：4，311
5. 教員だから培えた臨床能力：5，403
6. 「看護師」として行動する勇氣：6，493
7. 医学モデルも看護学モデルも大切なのに：7，572
8. 看護師であるからこそその苦悩とわずかな救い：8，695
9. 「現場の今」に届く，教育・研究のアクションを：9，797

10. 出合いを囁みしめる時空間：10，875
11. 他者の心に振るえる力と自分の心を鈍くする力：11，965
12. 看護師として生きることを支えたい：12，1041

■ 「教え方」の本を読む！

1. 教える側の押し付けによって学ぶ側の独立を促す／『人も自分も成長できる「教える技術」の鍛え方』：重松豊美，1，58
2. 伝える授業を伝える授業にする／『あたりまえだけれどなかなかできない 教え方のルール』：朝倉真弓，2，140
3. 『教える』とは多くの要素でその効果を決定する働きかけ／『「教える技術」養成講座』：山岡美納子，3，228
4. 教師たるもの五者たれ／『みんなが分かる！ できる人の教え方』：重松豊美，4，318
5. 「工場モデル」の教え方からの脱却／『効果10倍の〈教える〉技術 授業から企業研修まで』：朝倉真弓，5，398
6. いい講義は，講師と生徒の共同作業によって作られる／『誰でもまねできる 人気講師のすごい教え方』：山岡美納子，6，484
7. 学生に考えさせるための「仕掛け」の重要性／『頭のいい教え方 すごいコツ！ 仕事の成果が10倍変わる』：重松豊美，7，568
8. 学生も教員も「学びの共同体」となることで，学びに希望が抱ける／『教育の方法』：朝倉真弓，8，708
9. 「授業の名人」が教える技術と人間性／『教え上手——“自ら伸びる人”を育てる』：山岡美納子，9，804
10. 学生たちの「学びマインド」を磨いて，「学び上手」に／『教え上手は，学ばせ上手』：重松豊美，10，882
11. 簡潔かつ印象的に話すことは，練習するかどうかにかかっている／『1分で大切なことを伝える技術』：朝倉真弓，11，972
12. 伝える力の培い方から円滑なコミュニケーションのとり方まで／『話す』『書く』『聞く』能力が仕事を变える！ 伝える力』：山岡美納子，12，1048

■ 活動性を高める授業づくり 協同学習のすすめ：安永 悟

10. 協同による看護技術教育：1，64
11. 協同学習とPBL：2，146
12. 同僚との授業づくり：3，236

■ 演習を通して学ぶ看護援助の基礎のキソ

22. 看護援助のための基本的日常生活援助項目⑤ 清潔にする(その2)：小西美和子／佐藤政枝／川口孝泰，1，70
23. 看護援助のための基本的日常生活援助項目⑥ 移動する(その1)：佐藤政枝／小西美和子／川口孝泰，2，152
24. 看護援助のための基本的日常生活援助項目⑥ 移動する(その2)：佐藤政枝／小西美和子／川口孝泰，3，242

■誌上FD 自己決定できる「女性」を育てる 気づきと目覚めのジェンダー教育：沼崎一郎

13. ヘテロセクシズムとホモフォビア：1, 76
14. 現代医療と性：2, 158
15. 女性にとってのリプロダクティブ・ヘルス／ライツ：3, 250
16. 男性にとってのリプロダクティブ・ヘルス／ライツ：4, 326
17. 性と生殖の支配と管理：5, 404
18. 「母性」ってあるの？：6, 488
19. 「専業主婦」幻想を砕く：7, 574
20. 教室を超えて：8, 714

■Mail from USA『JNE』を読み、世界の看護教育の流れを知る

21. わたしの“革新への大胆な冒険”研究・人脈・興味を臨床につなぐ新年に：神谷英美子, 1, 82
22. カンニングと学術研究倫理：原田奈穂子, 2, 164
23. ビジュアルアートと看護教育：杉本敬子, 3, 256
24. コМПレキシティ科学と看護教育の接点：喜吉絃子, 4, 332
25. シミュレーション教育の普及から、ネットワーク時代の看護研究へ：神谷英美子, 5, 412
26. 東日本大震災の医療支援に参加して——基礎教育課程に災害看護の心得を：原田奈穂子, 6, 494
27. 解枳的現象学で知る「加速看護学修士」の考え方：杉本敬子, 7, 578
28. ハイリスクな大学院生活を乗り切って：喜吉絃子, 8, 718
29. 長い看護師人生を見据え、看護学生にチャレンジを：神谷英美子, 9, 808
30. 英語で看護——自信を育ててくれたリン：原田奈穂子, 10, 886
31. 手厚く好意的なサポートとエビデンスに基づく厳格な評価基準：杉本敬子, 11, 978
32. 新人教員の視点から——メディア技術の利用と学部臨地実習教育：喜吉絃子, 12, 1052

■書評

- 大下大圓著『ケアと対人援助に活かす瞑想療法』：〔評者〕安藤詳子, 1, 29
- グラディス L. ハステッド／ジェームズ H. ハステッド著、藤村龍子・樽井正義監訳『臨床実践のための看護倫理——倫理的意思決定へのアプローチ』：〔評者〕添田英津

子, 1, 37

- 【映評】松村譲児日本語版監修『アニメーションアトラス 人体のしくみ』：〔評者〕田中美智子, 1, 63
- 大下大圓著『ケアと対人援助に活かす瞑想療法』：〔評者〕明石恵子, 2, 127
- 服部祥子著『生涯人間発達論 第2版 人間への深い理解と愛情を育むために』：〔評者〕柳原清子, 2, 145
- 齊藤裕之、佐藤健一編『JJN スペシャル 89 医療者のための伝わるプレゼンテーション』：〔評者〕朝倉真弓, 3, 199
- 宮崎和子監、小野寺綾子編『新看護観察のキーポイントシリーズ がん看護・緩和ケア』：〔評者〕荒川唱子, 3, 235
- 舟島なをみ著『看護教育学研究 発見・創造・証明の過程 第2版』：〔評者〕川本利恵子, 4, 293
- 星旦二、栗盛須雅子編『地域保健スタッフのための「住民グループ」のつくり方・育て方』：〔評者〕新納美美, 4, 325
- 【映評】瀬川晋日本語版監修『前立腺癌 フォーカスメディカ 疾患解説アニメーション』：〔評者〕磯和勲子, 5, 383
- 奥出潤著『これならわかる！ かんたんポイント心電図 第2版』：〔評者〕蜂ヶ崎令子, 5, 391
- 近藤麻理著『知って考えて実践する 国際看護』：〔評者〕服部直子, 5, 411
- Christie W. Kiefer 著、木下康仁訳『文化と看護のアクションリサーチ——保健医療の人類学のアプローチ』：〔評者〕眞鍋知子, 6, 475
- 伊藤絵美著『ケアする人も楽になる 認知行動療法入門 BOOK1, 2』：〔評者〕鈴木啓子, 6, 483
- 茂呂悦子編著『せん妄であわてない』：〔評者〕山本君子, 9, 785
- 水原章浩編著『見てできる 褥瘡のラップ療法』：〔評者〕六角僚子, 10, 869
- 玉腰暁子・武藤香織著『医療現場における調査研究倫理ハンドブック』：〔評者〕坂下玲子, 11, 915
- 柳田邦男・陣田泰子・佐藤紀子著『その先の看護を変える気づき——学びつづけるナースたち』：〔評者〕大池美也子, 11, 949

■新刊案内

1. 56, 2. 124, 3. 214, 4. 304, 5. 372, 6. 452, 7. 560, 8. 678, 9. 778, 10. 856, 11. 940, 12. 1022

■INFORMATION

1. 27, 36, 2. 113, 133, 3. 176, 193, 4. 289, 303, 5. 397, 6. 443, 451, 7. 509, 8. 635, 9. 791, 796, 10. 868, 11. 922, 923, 12. 1035